

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表

平成31年2月22日
四国運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
徳島市地域公共交通会議	徳島バス株式会社	川内循環線 (徳島駅～川内支所・富吉団地～徳島駅)	利用実態調査を実施し、現状把握に努めた。 また、バスロケーションシステムの活用により、利便性の向上に努めた。	A	B	利用実態調査の実施による現状把握に努めるとともに、バスロケーションシステムを活用し、利便性の向上に努める。	目標利用者数に達しなかったものの、利用実態調査やバスロケーションシステムの活用により利用促進に努めた点は評価できます。 バスロケーションシステムの活用により、更なる利用促進に取り組み、利用実態調査により把握した地域ニーズをもとに、公共交通ネットワークの再構築を図ることを期待します。	
		渋野線 (徳島駅～動物園・渋野～丈六寺南)		A	B			
	有限会社東丸タクシー	応神ふれあいバス (①藤田荘～応神クリニック～マルナカ成長店 ②藤田荘～フジグラン北島～キョーエイ北島店)	運行ルートの延伸・変更を検討するため、アンケート調査(戸別訪問・車内)を実施した。 また、広報紙の新聞折り込みを行うなど新規利用者の増加に努めた。	A	B	平成30年10月1日から運行ルートの延伸・変更を実施するとともに、広報紙の新聞折り込みを継続するなど新規利用者の増加に努める。	目標利用者数に達しなかったものの、広報紙の発行により利用促進に努めたり、アンケート調査などの利用者のニーズ把握により、運行ルートの変更を検討した点は評価できます。 今後も目標を達成できるように、路線見直しや利用促進に向けた取組を継続していくことを期待します。	